

紅顔の若武者 織田信長（1955）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 92分

初公開日 1955/09/20

【解説】

山岡荘八の原作小説『織田信長』を「天兵童子」三部作の結束信二が脚色し「虚無僧系図」の河野寿一が監督した。中村錦之助が若き日の織田信長を演じ、濃姫との出会いから天下制覇を目指すまでの姿が描かれる。

うつけ者と陰口をたたかれる織田信長に、美濃の城主斎藤道三の娘の濃姫との縁談が持ち上がる。父から「何かあれば信長を刺せ」と短刀を預かった濃姫は那古野城に輿入れするが、信長はしばらく夫婦の契りを交わさなかった。父信秀と口論した末に城を飛び出した信長は、父の葬儀に遅れてやってきて、位牌めがけて香を投げつけるのだった。しばらく後、信長は尾張攻略をもくろむ道三と対面することに。自分を狙う軍勢が待ちかまえる正徳寺に、信長は一人で向かうのだが…。

【クレジット】

監督 河野寿一

企画 マキノ光雄

小川三喜雄

原作 山岡荘八

脚本 結束信二

撮影 坪井誠

美術 吉村晟

音楽 高橋半

出演 中村錦之助

高千穂ひづる

東宮秀樹

片岡栄二郎

月形龍之介

進藤英太郎

原健策

吉田義夫

浦里はるみ